

すこやか便り 2月号

令和3年2月1日 文責：青砥 真由美

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。吐く白い息がそのまま凍ってしまいそんな厳しい寒さの朝は、冷え切った空気に、身が引き締まる思いになります。

新しい年になり、進級できることに期待を持ち、意欲的に取り組む子ども達の姿がみられます。心も身体も成長する時期ですね。ひき続き期待を持たせながら生活できるような声掛けを心掛けていきたいと思います。



《 発熱、下痢、発疹の症状に気をつけて下さい 》

新型コロナウイルス感染症の症状は人によって異なり、発熱、咳、倦怠感と伝えられていますが、最近では下痢や発疹も症状のひとつと言われています。ロタウイルスやノロウイルス等が流行する時期でもありますので、下痢の症状の時はご家庭で24時間お子さんの様子を見て頂き、通常の便が出てから来所して下さい。発疹などに関しても当センターに相談をしてから来所して頂くよう、ご協力をお願い致します。

《 保護者等の事業所評価アンケートについて 》

鹿追町児童デイサービスにおける『事業所アンケート』を実施しています。回答（回収）期日は2月12日（金）までとなっておりますので、宜しくお願い致します。

《南側に駐車できるスペースがあります》

支援センターの南側に駐車することができます。駐車の方法につきましては、裏面に詳しく記載してありますので、確認をお願い致します。南側の駐車スペースが狭いため、ひき続き北側駐車場もご利用して下さい。



《生活習慣が身につくように支援を行っています》

子ども達が玄関から入って来るとすぐに療育が開始になります。靴を下駄箱に片づける、挨拶をする、ジャンパーを畳む、手洗いうがいをする、高学年になると敬語で話すなど、基本的な生活習慣を身につけることも大切な療育になります。声を掛けられることで行動する姿から、自発的な姿に繋がりたいと思います。子ども達の基本的な生活習慣の確立が、学習の支えになるとも言われていることから、しっかり身につけていきたいと考えています。それには大人の支えが必要になるため、支援の方法を工夫しながら関わりたいと思います。